

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/14号

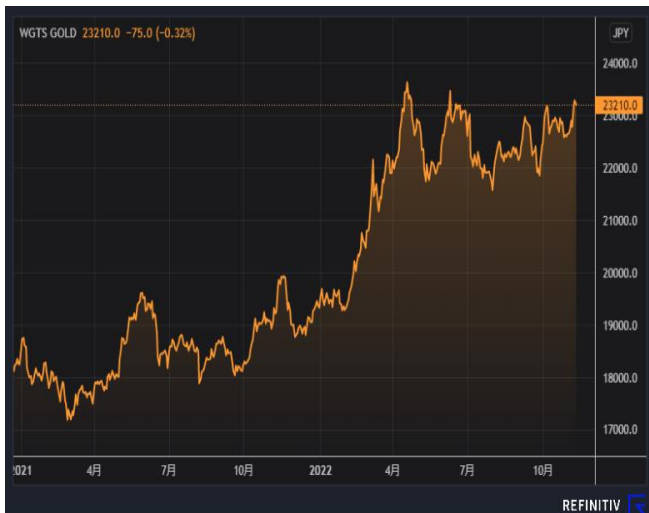
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド1770ドルへ急騰！

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



一週間のゴールドの上げ幅が90ドルという大きなものになったのは2020年の7月に2000ドルに向かった時の上昇以来です。先週のレポートで「7カ月連続下落したという過去最長の下落マーケットであったことを考えると、ドル高の修正が入ってくるとすればゴールドの上昇はこれでは止まらないでしょう。来年早期とみられていた相場のトレンド変換が予想よりも早くなった可能性も多いにあります。」と書きましたが、まさにそのような動きとなりました。木曜日のCPIは7.7%と市場予想の7.9%そして前月の8.2%を大きく下回る数字となり、その結果ドルと長期金利が大きく下落しました。この結果FRBの金利上げが今後よりゆるやかになるとの見方が台頭、12月の利上げは0.5%となる可能性が80%に上昇し、0.75%の見方は大きく下落しました。その結果ゴールドは大きく上昇、いきよに1700ドルを大きく超え、金曜日には1770ドルまで上昇し、高値引けとなりました。年内にも1800ドルを目指すような状況になりました。この急騰の背景にはもう一つ、暗号資産の大手交換業者であるFTXがChapter11申請（破産）があったことも上げられるでしょう。ドル下落、金利低下でほかの資産が大きく上げた中、暗号資産だけで暴落、Bitcoinが21000ドルから一時16000ドル割れまで下げ、それが信頼できる資産としてのゴールドに注目を集めたともいえるかもしれません。FTXでは10億ドルを超える顧客資産が行方不明になっており、暗号資産のリスクがその仕組みそのものよりも、それを取引する交換業者のリスクが今後大きくクローズアップされ、暗号資産の将来に暗雲をなげかけています。円建てのゴールドは逆にドル円の8円以上もの急落により、週初比60円の下落となりました。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

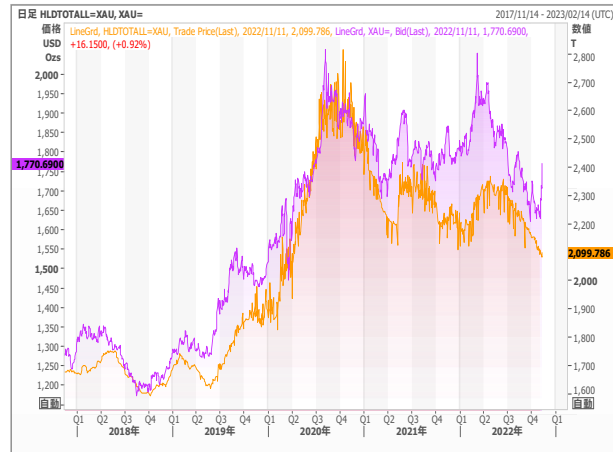
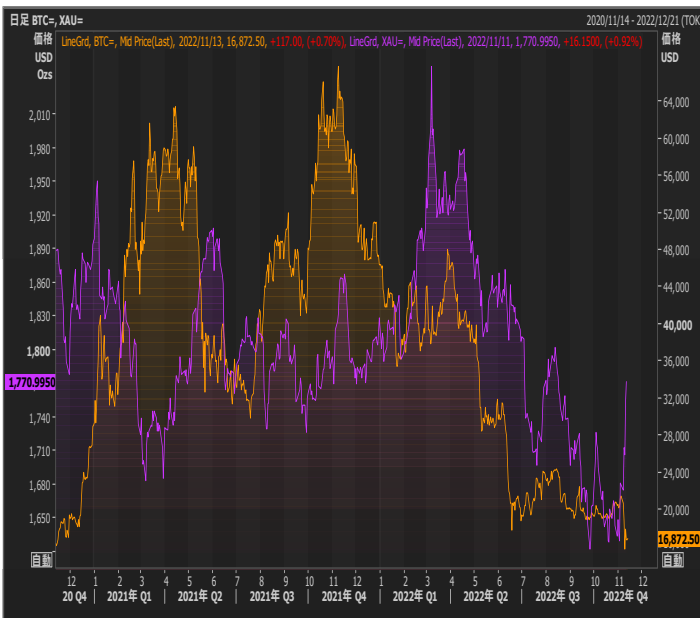
金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「暗号資産交換所FTXの破綻」

先週暗号資産マーケットに激震が走りました。FTXという取引高では世界第三位の暗号資産取引所が、FTTと呼ばれる彼等独自の暗号資産の価値が80%低下、業界第二位のBinanceによる救済合併も否定され、Chapter 11つまり破産の申し立てをしました。これを受けてBitcoinは21000ドルから一時15000ドル台まで急落、ドル安金利安でその他の資産が大きく上げていっている中、暗号資産だけが大きく下げるといふ異常事態となりました。最低でも10億ドルの顧客資産が行方不明という状況になっており、これは暗号資産業界にとっては壊滅的な影響を及ぼす可能性があります。この失われた信用を果たして取り戻すことができるのか、もしできるとしてもそれにはどれくらいの期間がかかるのか、今見通すことができません。暗号資産取引所になるべく資産を残さないこと、つまり短期的売買に徹して資金が取引所に滞らないようにすぐらいしかないでしょう。これは暗号資産自体の信頼性というよりも、その取引所業者の信頼性という問題になります。今後も似たような問題が出ないという保証は全くなく、今後暗号資産からの資金流出が懸念されます。

(Bitcoinとゴールドの動き)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

